

## ラズベリーの栽培における雨よけ被覆の効果

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

ラズベリーの夏果の収穫時期は梅雨期と重なるため、腐敗果が発生し、商品果率の低下が課題となっている。そこで、生育期間中に雨よけ被覆をおこなった結果、商品果率の向上効果を明らかにしたので参考資料とする。

### 2 参考資料

- 1) ラズベリーの主要品種である「サウスランド」の夏果の収穫期間は6月下旬から7月下旬までで、これは東北地方南部の梅雨期(平年値：6/10～7/23)に重なる(表1)。
- 2) 雨よけ被覆を行うことにより、収穫量が増加する(表1)。
- 3) 雨よけ被覆を行うことにより、果実に直接雨が当たることはない。そのため果実腐敗率は1%と低く、商品果率も約91%で高い。露地栽培では果実が直接雨に当たるため、腐敗果が約23%発生し、商品果率も約77%で低い(表1)。
- 4) 商品果率の年次変動は少なく、90%台の高い値を維持しており、安定した果実生産が可能となる(表2, 図1)。

### 3 利活用の留意点

- 1) 被覆期間は夏果開花始めから秋果収穫終了時までとする。
- 2) 1年生株を25Lポットに定植し、列間1.6m, 株間1.0mとする。施肥量は2年生から4年生で窒素成分9g/株。5年生からは窒素成分12g/株とする。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所 電話022-383-8132)

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 経営の幅を広げる水田転換畑用新規品目の検索と栽培流通方法の確立（平成16年度～20年度）
- 2) 参考データ

表1 栽培条件がラズベリー「サウスランド」の夏果収穫期、収穫量および果実品質に及ぼす影響（2005年）

栽培条件	開花始め (月/日)	収穫始め (月/日)	収穫終わり (月/日)	収穫量 (kg/株)	腐敗果率 (%)	奇形果率 (%)	商品果率 (%)
雨よけ	5/24	6/29	7/25	1.08	1.0	6.7	90.9
露地	6/1	6/29	7/25	0.60	22.6	0.6	76.8

注1) 収穫量は腐敗果および奇形果を含む。

注2) 25Lポットで栽培した。

表2 雨よけ栽培における「サウスランド」の夏果収穫量および果実品質の年次変化

年次	収穫量 (kg/株)	腐敗果率 (%)	奇形果率 (%)	商品果率 (%)	1果重 (g)
2004	0.83	1.2	3.5	95.2	2.7
2005	1.08	1.0	6.7	90.9	2.5
2006	1.36	0.8	2.3	92.3	2.7

注1) 収穫量は腐敗果および奇形果を含む。

注2) 25Lポットで栽培した。

注3) 2004年次で3年生



図1 雨よけハウスでの栽培状況

- 3) 発表論文等 平成18年度成果情報「雨よけ栽培によるラズベリーの安定生産」として提出